

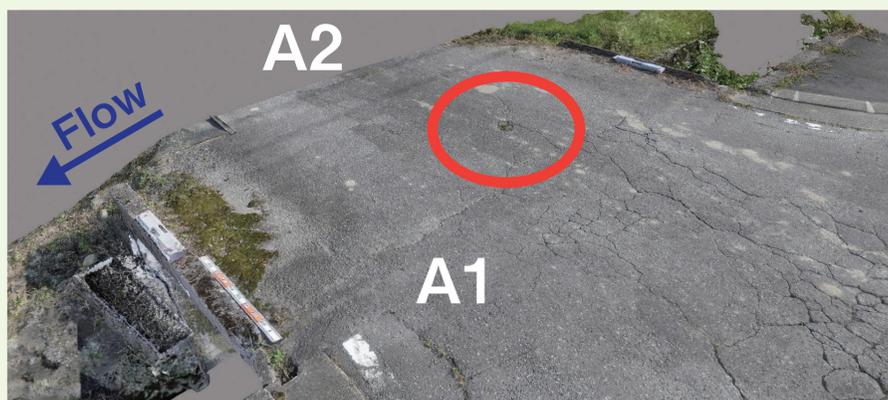


3Dを用いた損傷診断事例

The Real on Your Desk.

事例

農業用ボックスカルバート 橋面ポットホール跡と頂版の損傷



橋面上のポットホール跡



頂版部中央の損傷



「ポットホール」と「頂版部中央の損傷位置が一致

MCSの
ポイント



- ・3Dデータの「断面作成」機能を活用
- ・橋面と桁下の位置関係を正確に把握
- ・橋梁現場をデジタルデータ化(DX)

MCSの
効果



- ・3D表現で、情報共有が容易となる
- ・現場に行かなくとも、複数名で損傷原因を議論可能
- ・損傷状況を俯瞰的に把握する事で、損傷原因を特定

